

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）		
◆地区防災計画の策定		
①	策定作業中	1 地域／11 地域
②	策定完了	0 地域／11 地域
◆地域防災訓練の内容		
①	初期消火・救助訓練	11 地域/11 地域
②	避難訓練	11 地域/11 地域
③	収容避難所開設訓練	11 地域/11 地域
④	収容避難所運営訓練	0 地域/11 地域

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）	
・地域の初期初動訓練は、それぞれのパートごとの訓練に留まっており、計画的でありかつ、組織的な初期初動の動きとはなっていない。	
・東成区では、災害時の初期初動訓練（初期消火・救助・収容避難所開設訓練）を中心に実施している。しかしながら、災害時に住居を失った場合は、中長期（1～3 か月）の収容避難所生活が考えられるため、地域で自主運営できるように、収容避難所運営についての取り決めなど決めて、地域住民自身が理解しておく必要がある。	

課題（上記要因を解消するために必要なこと）	
・各種訓練を計画的に遂行し、組織的に対応するため、地区防災計画を策定し、各種動きを地域住民で認識し、行動に反映させていく必要がある。	
・今後は、収容避難所へ避難してきた後、中長期（1～3 か月）の避難生活を強いられた場合を想定した収容避難所運営訓練が必要である。	

平成 26 年度東成区運営方針

主な取組みの課題と改善策（平成 26 年度中間振り返り）	
● 主な取組み名【避難所設置・運営訓練の支援】	
・地域住民で組織された地域防災リーダーの技術訓練を実施（6 月）。8 月に 2 地域で震災訓練を実施し、9～11 月にかけて残り 9 地域での震災訓練と、それらと連携した区役所職員防災訓練の実施を予定。 ⇒ 課題：地域での訓練や防災活動に、現役世代や子育て世代など、幅広い世代や人材から、多くの方に参加してもらう必要がある。 ⇒ 改善策：訓練に講演会と実技を組み合わせたり、小学校と連携するなど、訓練内容の工夫と効果的な周知により、多くの人の参加を促して、地域での自助力、共助力の強化を図っていく。	
● 主な取組み名【防災啓発の推進】	
・地域で開催された防災講習会や地域防災リーダーに新たに任命された方の説明会、地域住民で組織する災害救助部長会等で、東成区防災プランの説明を行った。区広報紙で防災情報と東成区防災プラン周知のための記事を継続掲載している。 ⇒ 課題：災害による被害軽減のためには、防災啓発を推進し、正しい知識と住民による自助・共助の重要性の理解を広げていく必要がある。各地域の特性に応じた、地域別の防災計画は作成されていない。 ⇒ 改善策：区民の防災意識向上のため、区広報紙で防災特集を行い、防災情報の周知を図る。各地域が、地域特性に応じた防災計画を作成していくことで、地域の防災力の向上に繋げていく。	

平成 27 年度東成区運営方針策定の方向性

区役所が考える方向性

- 【めざすべき将来像】（概ね 10～20 年間を念頭に設定）
「安全・安心で、いきいきとしたまち」
地域活動協議会、警察署、消防署、企業・事業所、医療機関、学校などと連携し、災害や事故など区民の生活に影響を与える様々なリスクに対処する仕組みをつくり、総合的な危機管理機能を拡充します。
- 【めざす状態】（概ね 3～5 年間を念頭に設定）
- ・地区防災計画の策定
 - ・中長期を意識した収容避難所運営訓練の実施
- 各種訓練を組織的に対応できる地区防災計画となるように取り組む。
- 地区防災計画や中長期を意識した避難所運営訓練で、男女共同参画の推進や高齢者や障がい者などの多様な主体の参加・参画に取り組む。

平成 27 年度東成区運営方針策定の方向性

区民のみなさまが考える方向性 （メモ欄としてご自由にお使い下さい。）